

# 「第2回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染 拡大によるがん患者への影響実態調査」

調査期間：2020/12/12～12/18  
調査方法：WEBアンケート  
回答者数：1,085人

一般社団法人ピアリング

# 目次

- 調査/結果概要 : p.3~4
- 回答者属性 : p.5~9
- 本調査結果 : p.10~29
  - COVID-19による、がん治療への影響の有無・内訳
  - COVID-19感染への不安の度合い
  - 感染以外の不安の内訳
  - 体調への影響
  - 抑うつスクリーニング結果
  - 運動量への影響
  - 就労への影響
  - 収入への影響
  - 治療中のがん以外のがん検診状況
  - 感染拡大に際し困っていること、工夫していること
  - クロス分析（年齢、コロナ影響度、同居状況と、抑うつとの関連性）

## 調査概要

### 【背景/目的】

女性がんサバイバー専用SNS“ピアリング”では、乳がん、子宮頸がん・体がん、卵巣がんなどの女性特有がんを告知された9,400人以上（2021/1現在）の患者が、診察室ではなかなか話せない様々な不安を共有し、励まし合いのコミュニケーションをとっています。

昨年4月にピアリングで実施したアンケート調査結果では、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の拡大により、がん患者の治療や生活に影響が生じていることが、示唆されていました。

今回、上記に続き、**“第3波”と報道された2020年10月以降の影響を調査いたしました。**

また今回は、感染拡大の長期化により影響が懸念される、**就労・収入、抑うつ**に関する項目を加えました。この調査結果により、女性特有がん患者が現在受けている影響を明らかにし、治療・生活環境の改善に寄与することを目指しています。

### 【主な調査項目】

- 新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大による、がん治療への影響の有無・内訳
- 治療中のがん以外のがん検診状況
- 体調・心身への影響
- 就労・収入への影響

【調査期間】 2020/12/12～12/18

【調査方法】 WEBアンケート

【回答者数】 1,085人

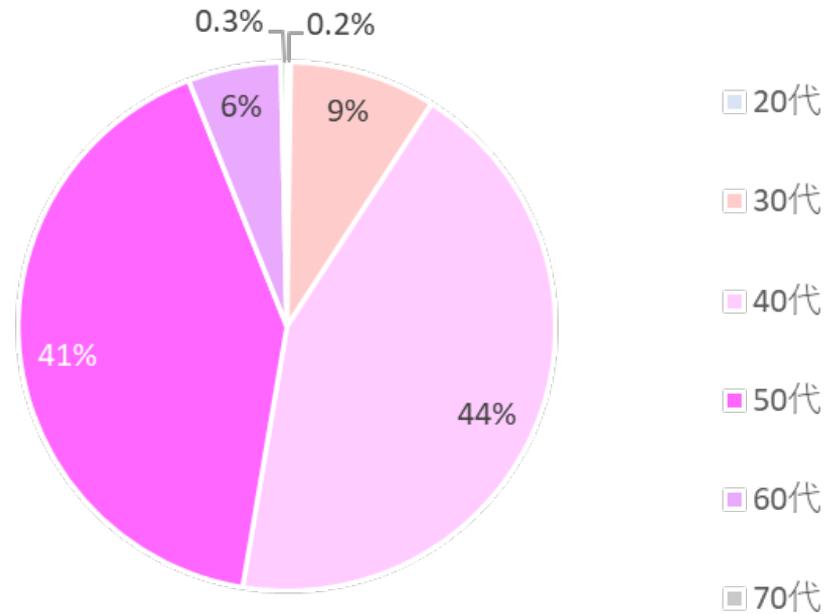
## 結果概要

- がん治療へ「影響を受けている」：13.9%（151人）
- 「感染への不安から自ら通院を延期している」：55人
- 現在治療中のがん以外の「がん検診を自己判断で延期している」：23.8%（258人）
- 過去30日間の体調「気分が落ち込んで暗くなる」が強まった：30%（323人）
- コロナ感染拡大後「運動量が減った／大きく減った」：59%（640人）
- コロナ前から「就労状況に変化があった」：31.3%（260人）
- コロナ前と比べて「世帯収入が減った」：39.6%（430人）

- がん治療への影響を受けていると回答した人の割合は4月調査（第1波）より10%減少しました。感染拡大が長期化する中で、がん治療等コロナ以外の疾患への治療体制が医療側の努力で維持されてきたことが推察されます。しかし、年末からの感染急拡大で、再び医療のひっ迫とがん治療への影響が懸念されます。（P12）
- 感染への不安から、自己判断で通院を延期している人の割合は前回調査と同水準で、自主的な受診控えが依然として続いていることが示唆されました。（P13）
- またその他のがん検診を延期している人も多く、「早期発見」に影響が出ることが懸念されます。（P23）
- **仕事減・収入減と回答した人の割合は3割を超え**、治療費の負担が重いがん患者の経済的環境の悪化が懸念されます。（P21～22）
- 治療への影響が出ている人のほか、AYA世代、一人暮らし等の属性のがん患者さんに、より強い精神的ストレスが生じていることが推察されます。（P18～19,P28～30）

## 回答者属性

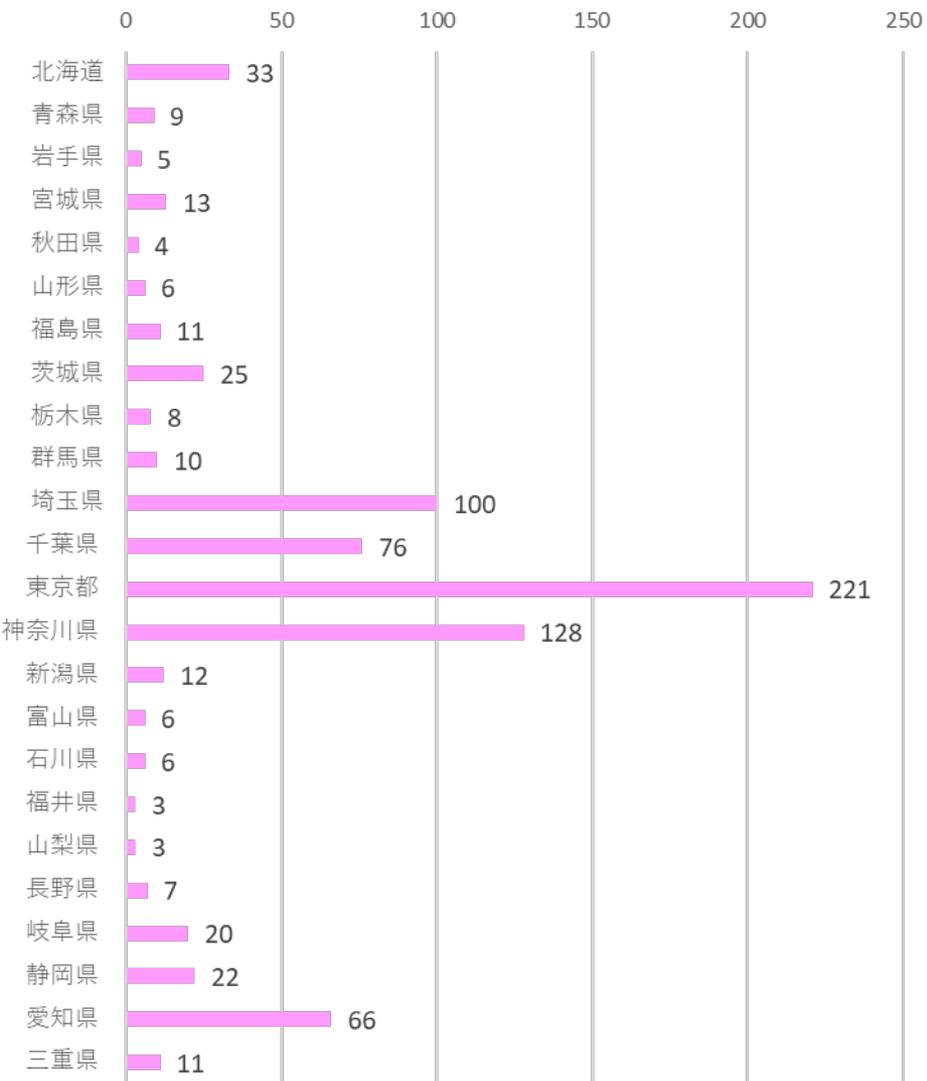
# 回答者属性：年齢



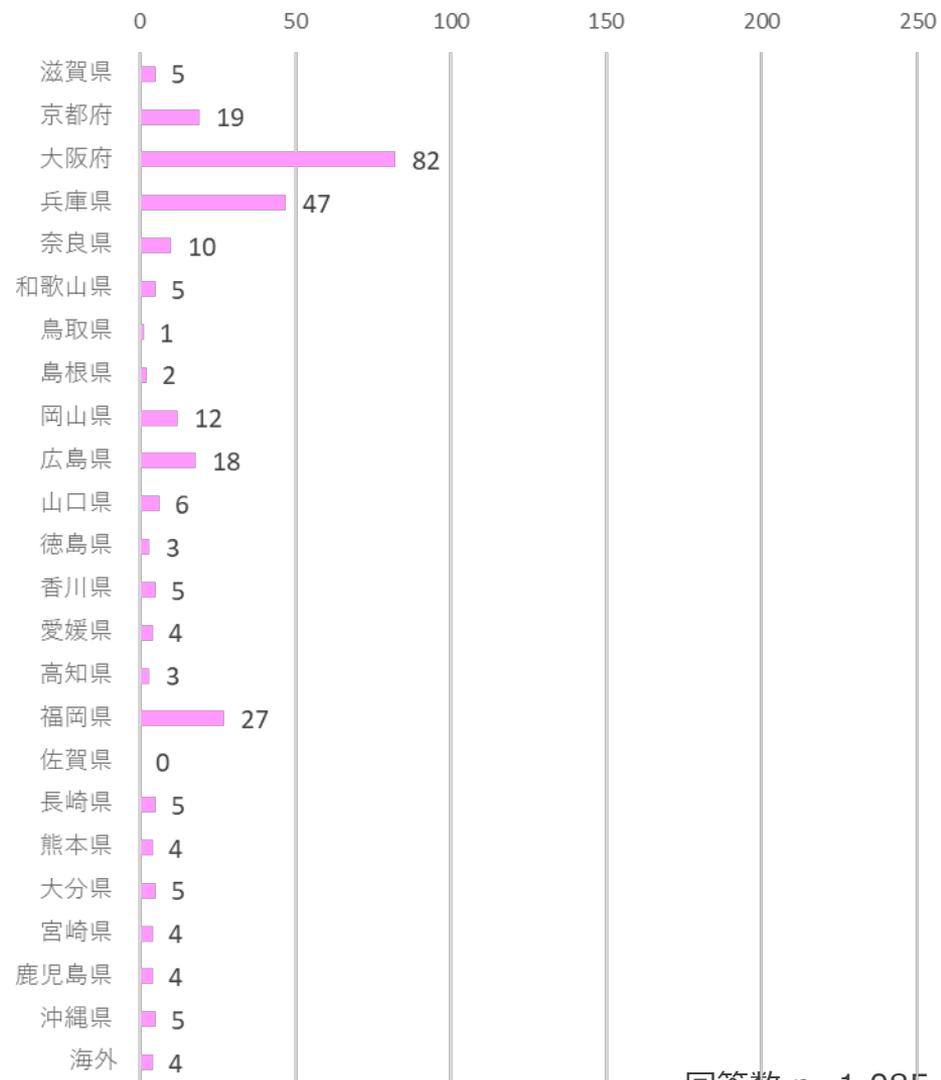
回答数 n=1,085

# 回答者属性：居住地域

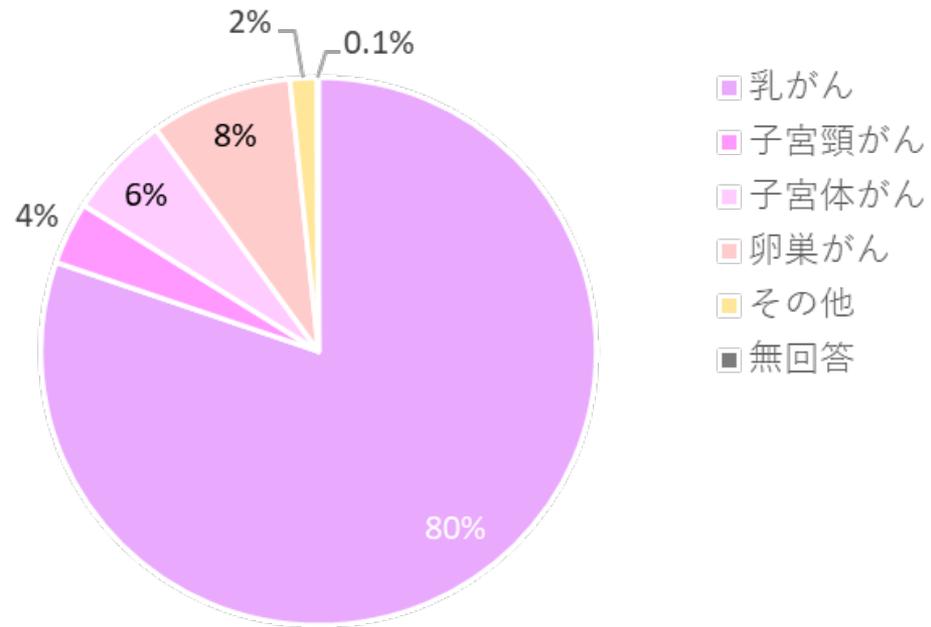
回答人数 (人)



回答人数 (人)

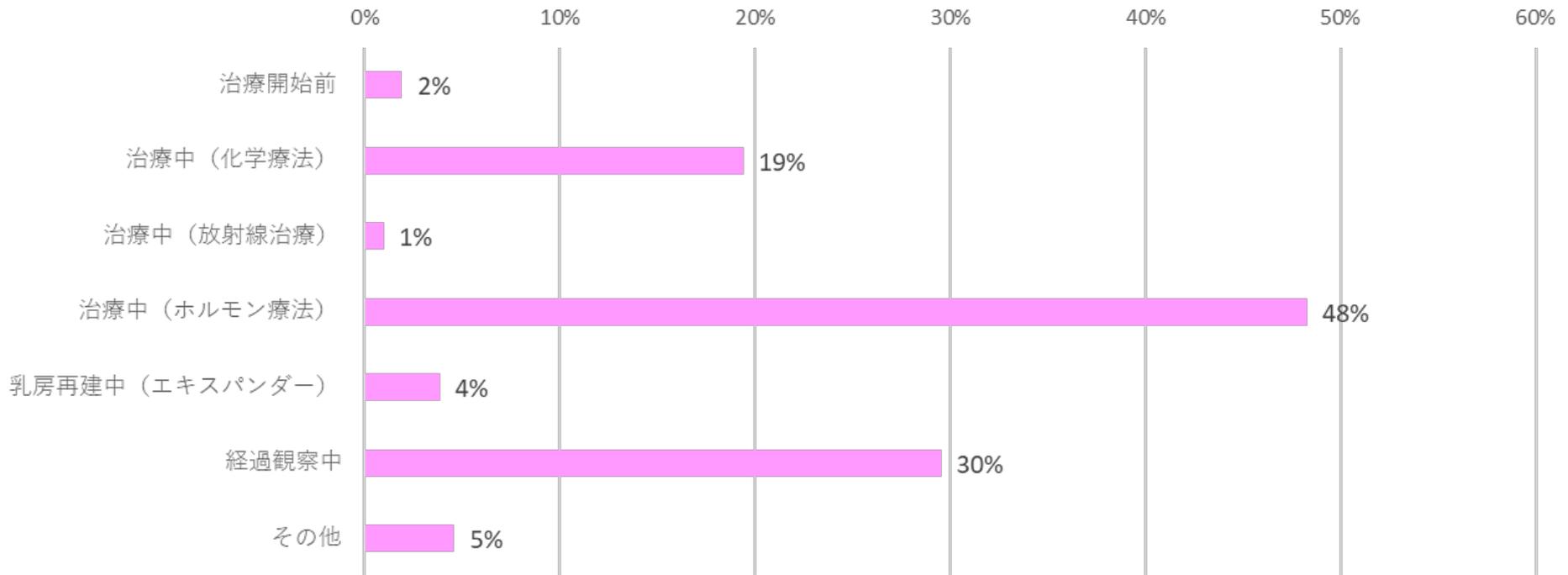


回答数 n=1,085



回答数 n=1,085

# 回答者属性：治療状況

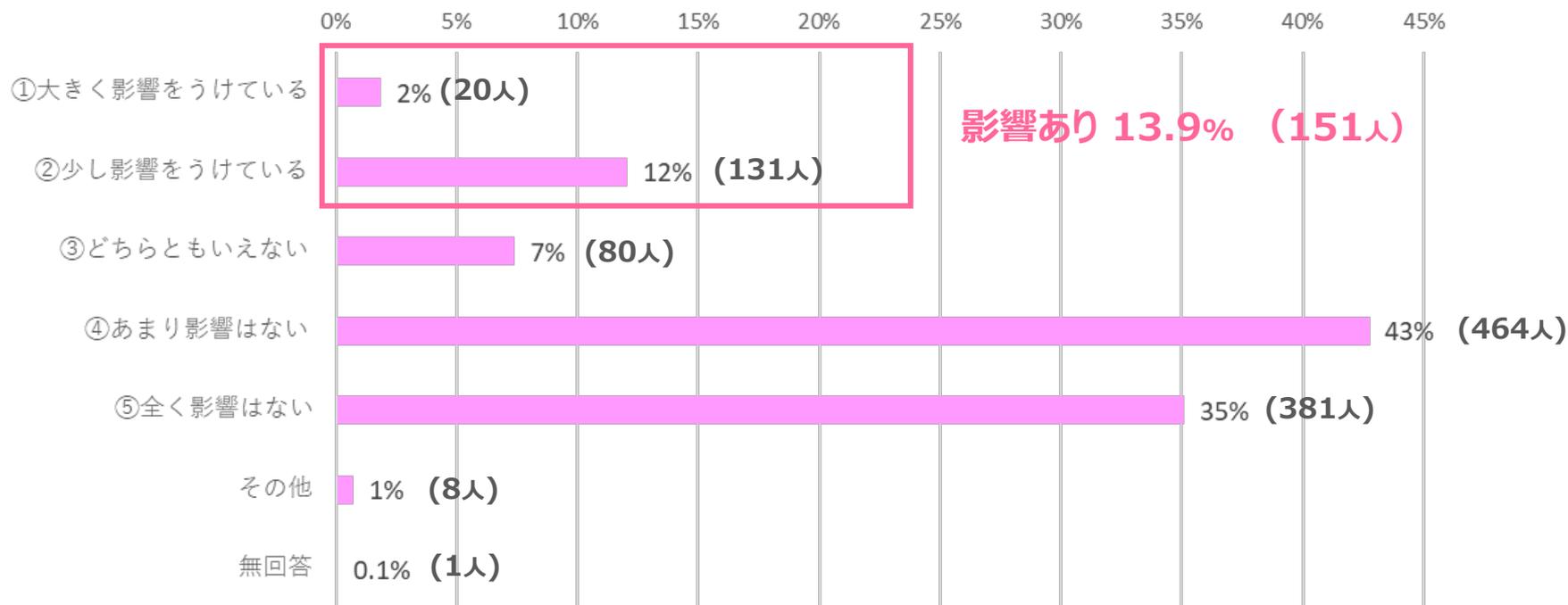


回答数 n=1,085

## 本調査結果

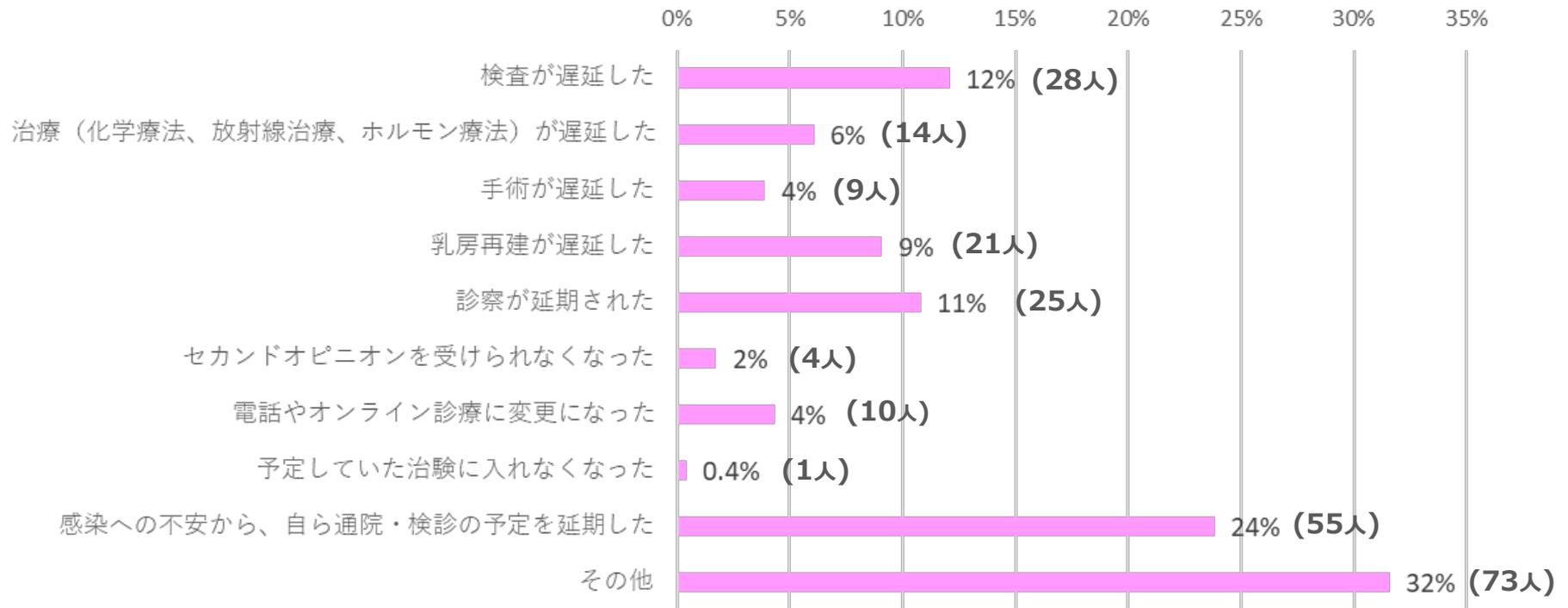
# Q.新型コロナウイルス感染拡大により、がん治療に関して影響を受けましたか？

(新型コロナウイルス感染症の「第3波」と報道された11月以降の状況)



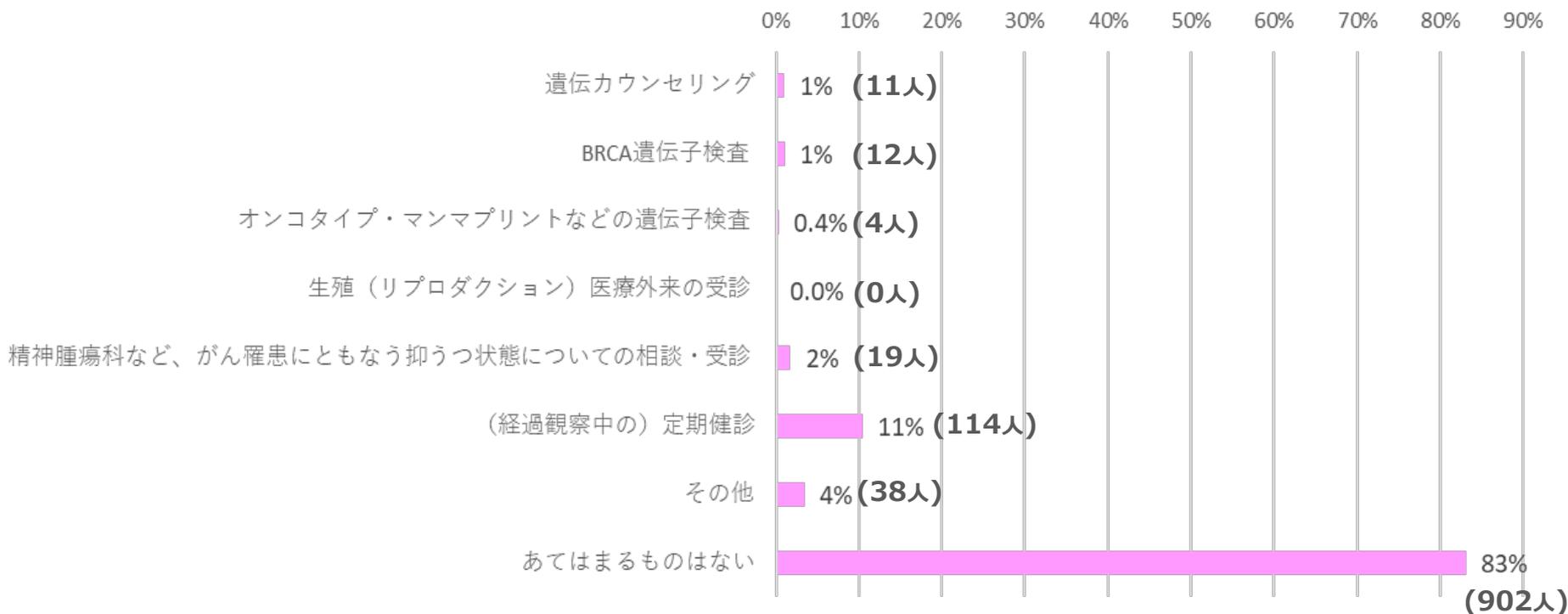
回答数 n=1,085

Q.前問で「①大きく影響を受けている」「②少し影響を受けている」「③どちらともいえない」とお答えの方へ質問です。  
 どんな影響を受けましたか？ ※複数回答可



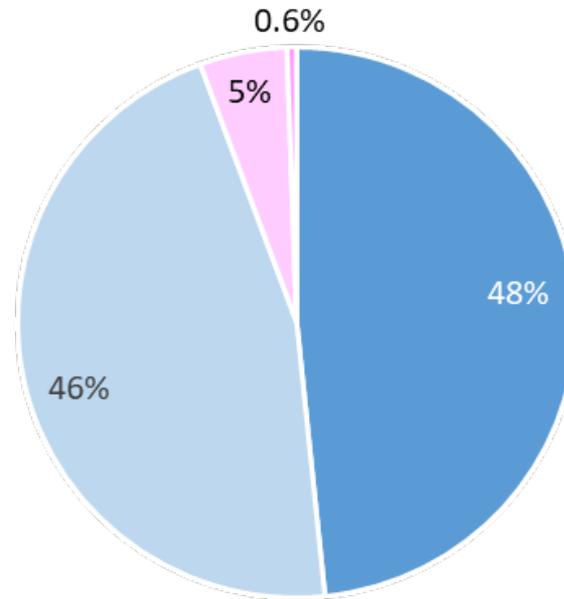
回答者数 n=231

**Q.がん治療に付随する次の内容のうち、新型コロナウイルス感染拡大により、あなたの予定が遅延するなど影響を受けた項目があればチェックを入れてください。 ※複数回答可**



回答者数 n=1,085

## Q.新型コロナウイルスに自分や家族が感染する不安をどの程度感じていますか？

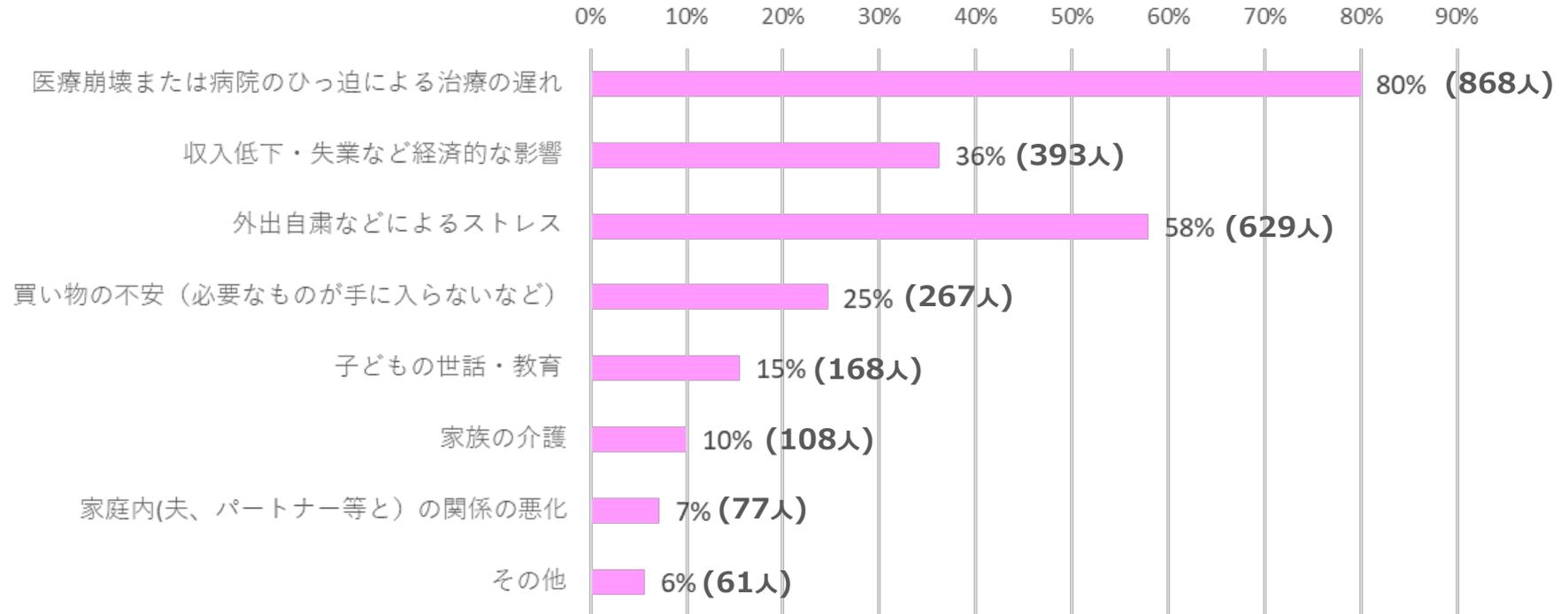


- ①大いに不安を感じる
- ②ある程度不安を感じる
- ③あまり不安は感じない
- ④まったく不安は感じない

回答数 n=1,085

## Q.新型コロナウイルスに関して、感染の不安以外にどのような不安を感じていますか？当てはまるものをお答えください。

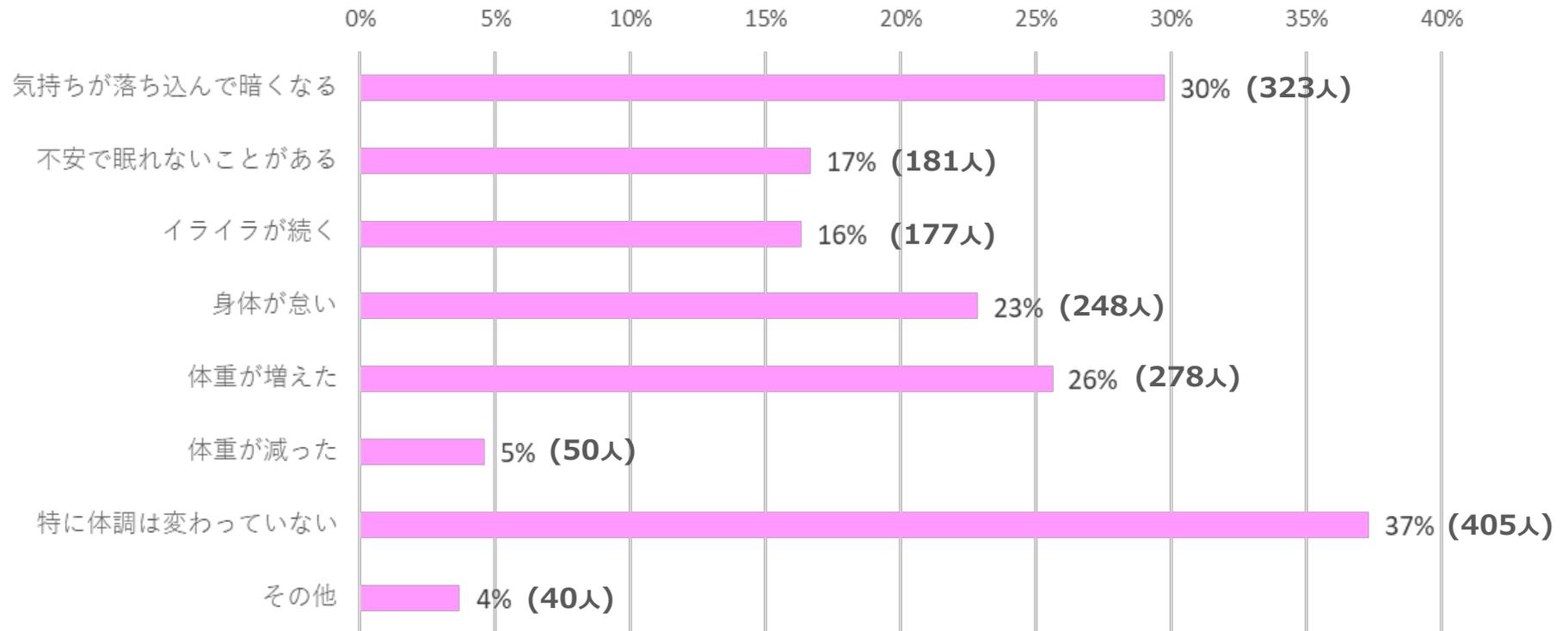
※複数回答可



回答者数 n=1,085

Q.過去30日間のご体調についてお聞きします。以前と比べて強まったと感じる項目があればチェックをしてください。

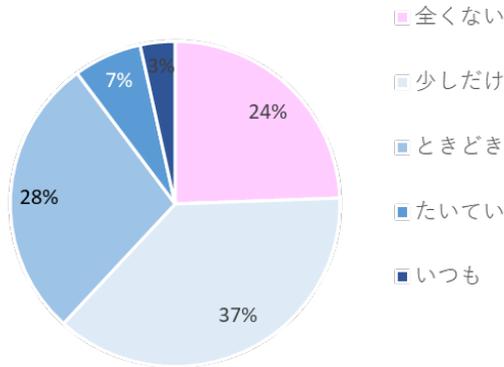
※複数回答可



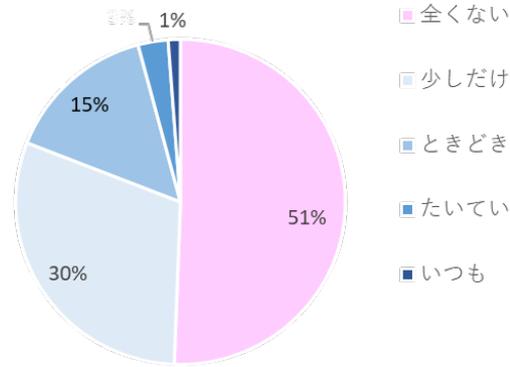
回答者数 n=1,085

# Q.過去30日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか？

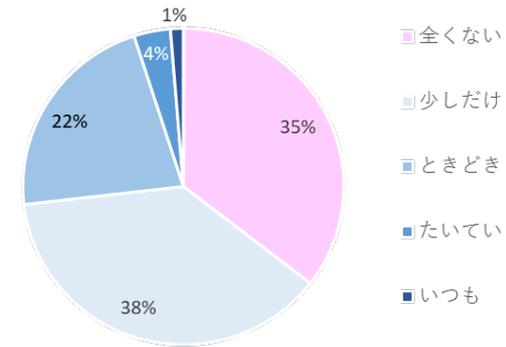
神経過敏に感じましたか？



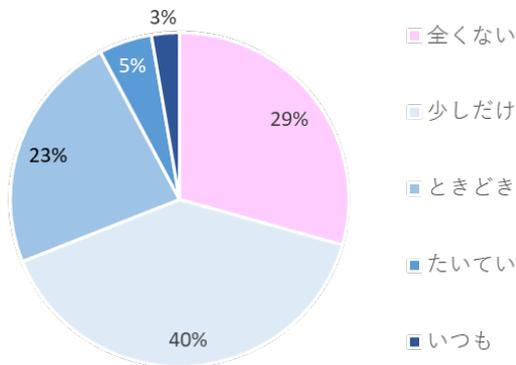
絶望的だと感じましたか？



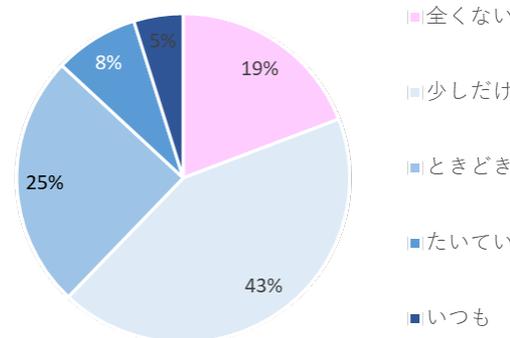
そわそわ、落ち着かなく感じましたか？



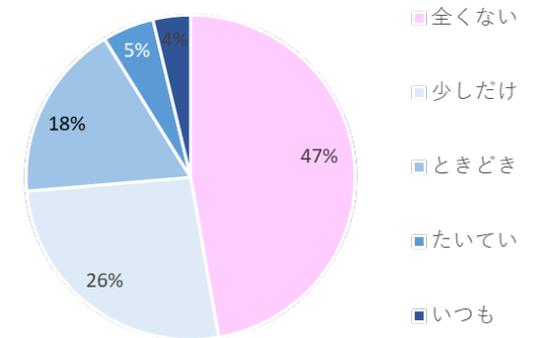
気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか？



何をしてもおっくうだと感じましたか？

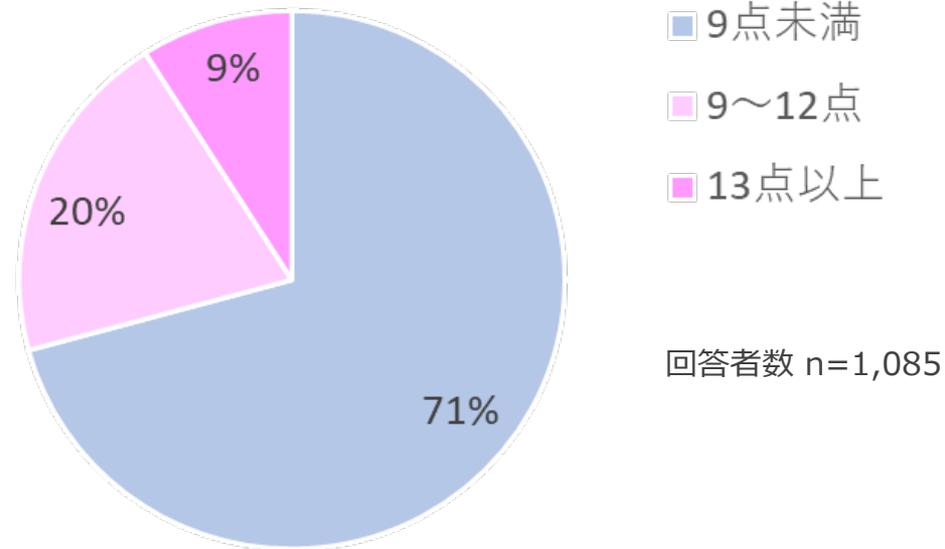


自分は価値のない人間だと感じましたか？



回答者数 n=1,085

## Q. K6による気分・不安障害のスクリーニング結果



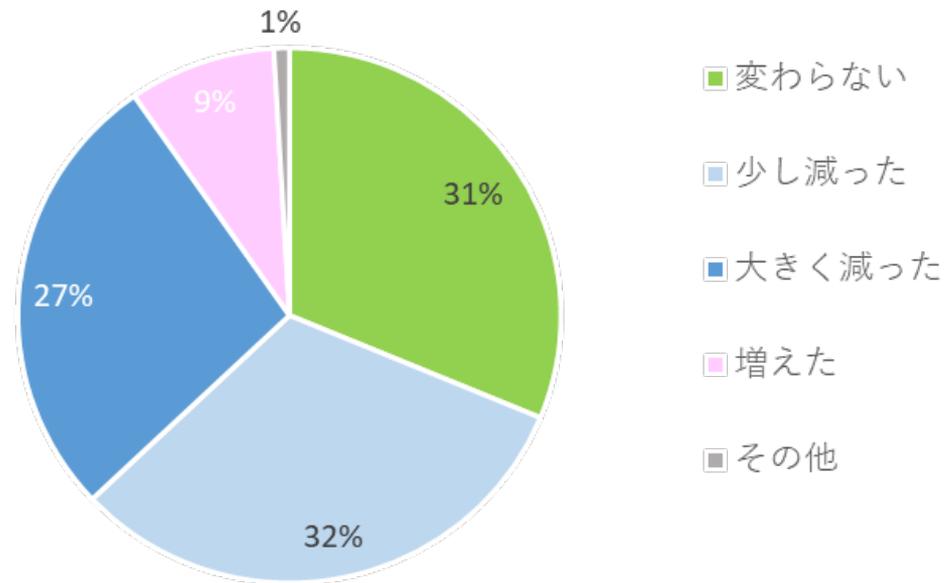
13点以上：重度のうつ・不安障害が疑われる 9%

9～12点：うつ・不安障害が疑われる 20%

※K6とは、国民生活基礎調査等で用いられるうつ・不安障害に対するスクリーニング法です。  
スクリーニング調査の項目は、P18を参照してください。

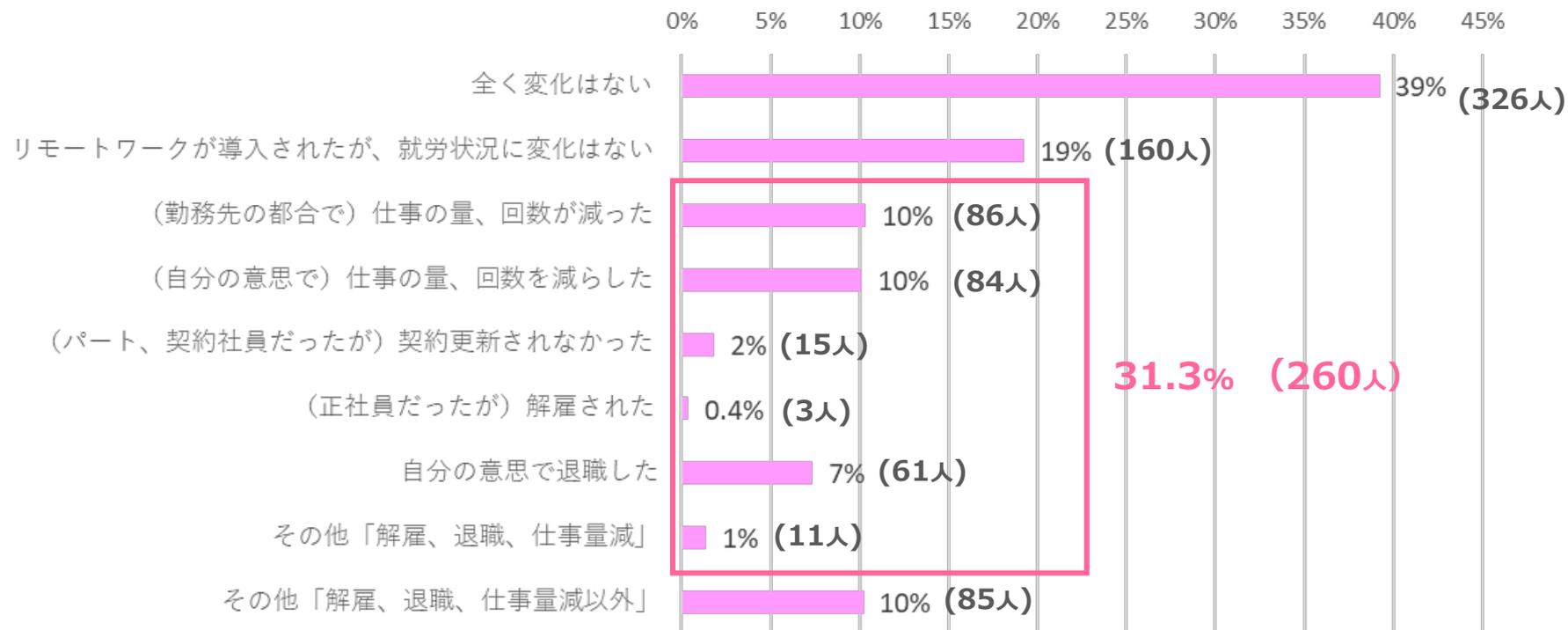
■スクリーニング方法の出典：国立精神・神経医療研究センター うつ・不安に対するスクリーニングと支援マニュアル

Q.新型コロナウイルス感染症拡大後のご自身の運動量についてお聞きします。  
当てはまると感じるものにチェックをしてください。



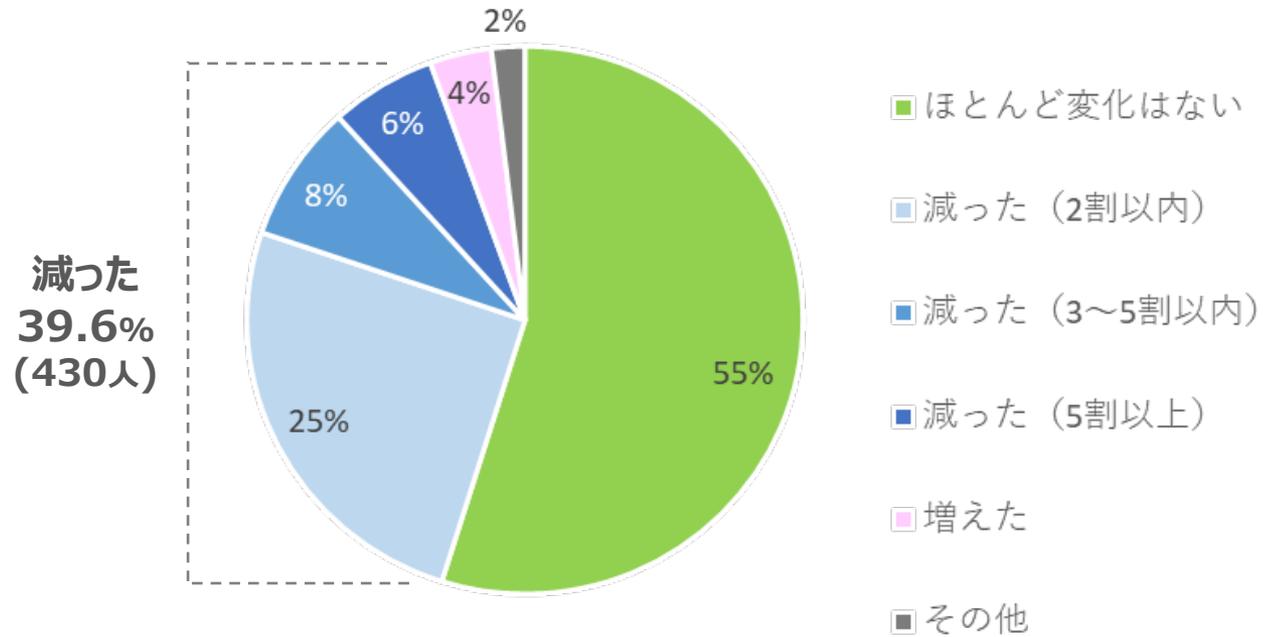
回答者数 n=1,085

# Q.「本年2020年1月時点で就労中だった方」にお伺いします。 就労状況に変化はありましたか？



回答者数 n=831

# Q.皆様にお伺いします。本年2020年1月時点の世帯収入と比べて、直近の収入に変化はありましたか？



回答数 n=1,085

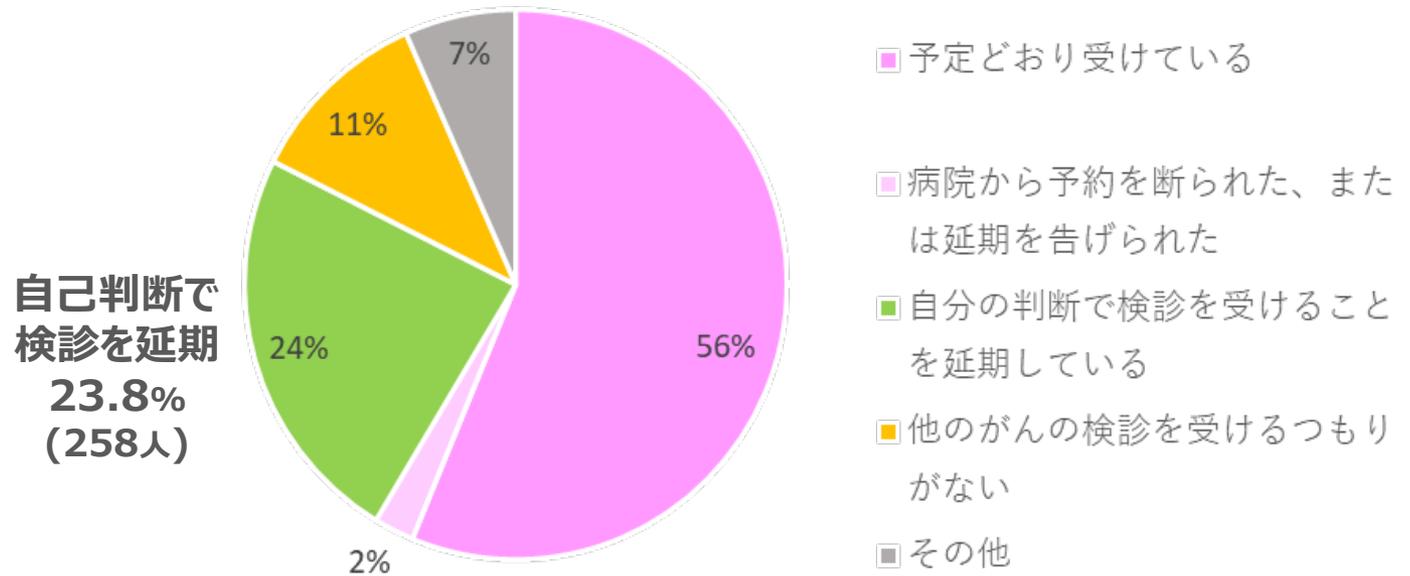
## Q.現在治療中のがん以外の定期がん検診

(健康診断のオプション等含む) についてお伺いします。

(ex : 乳がんの方→子宮体がんなど婦人科がん検診、

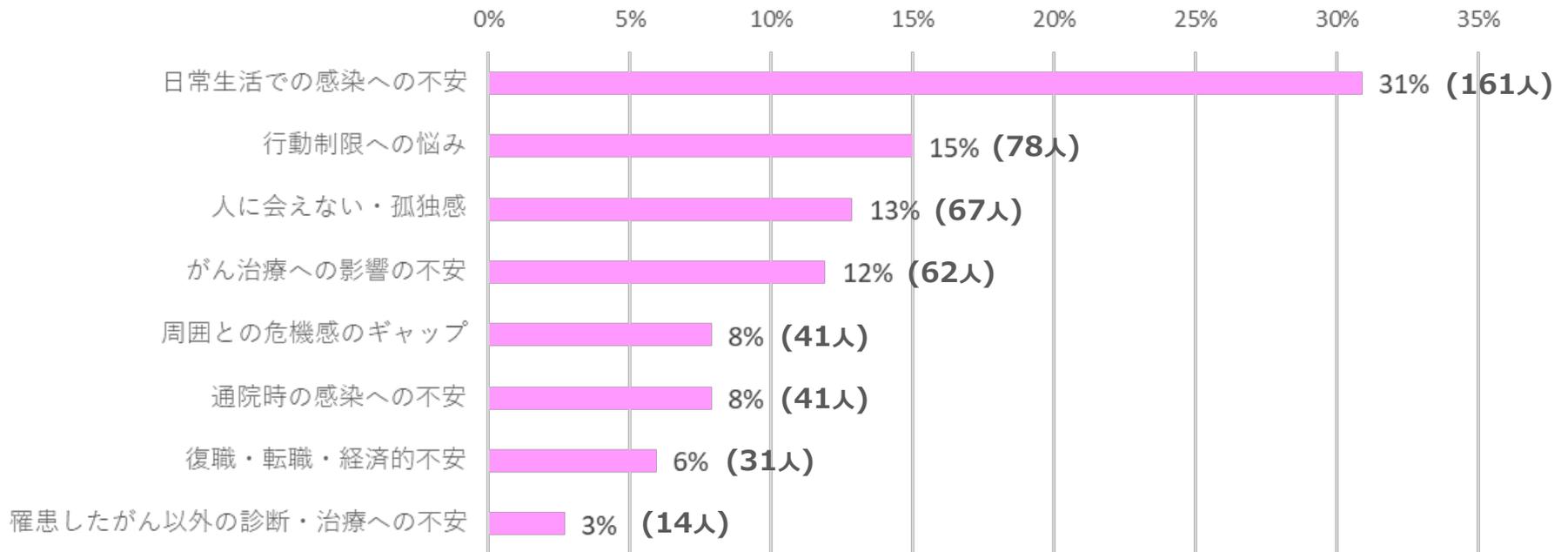
婦人科がんの方→乳がん検診、または胃がん・大腸がん検診など)

**これらの検診を予定どおりを受けていますか？**



回答数 n=1,085

## Q.新型コロナウイルス感染症拡大に関連して、困っていること、悩んでいることがあれば自由にお書きください。



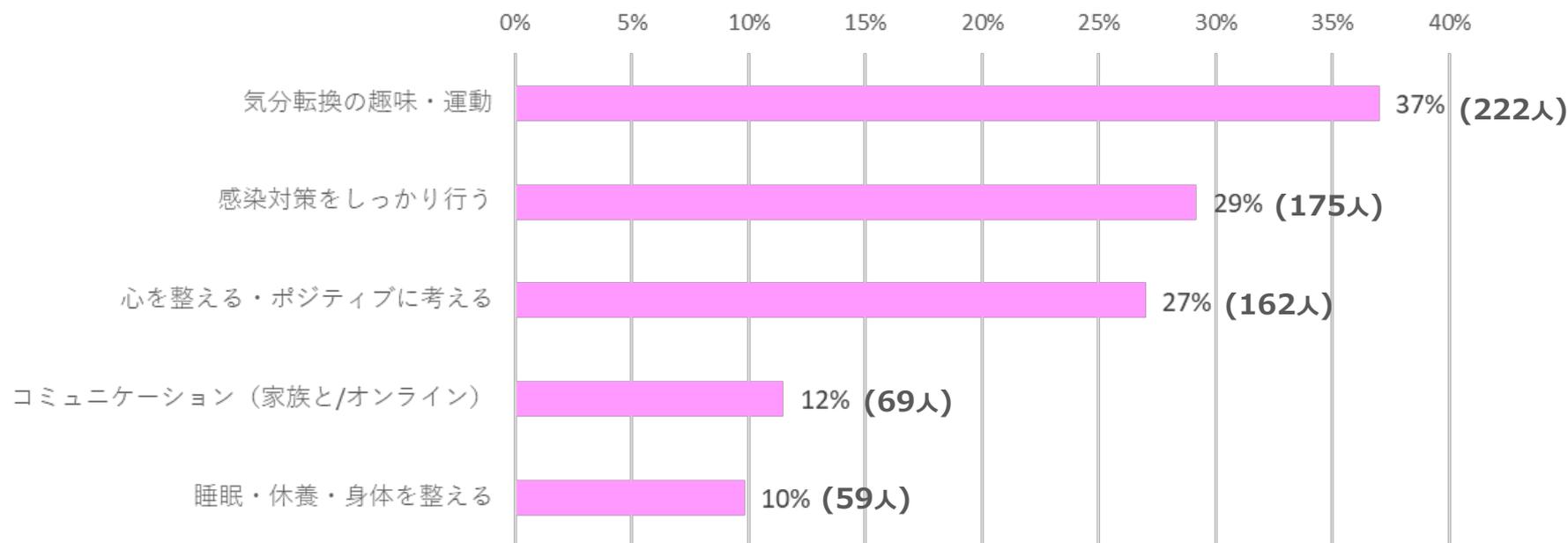
※自由記述を内容別に分類

回答者数 n=521

## Q.新型コロナウイルス感染症拡大に関連して、困っていること、悩んでいることがあれば自由にお書きください。 ※記述式回答から抜粋

日常生活での感染への不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者が感染した場合（特に治療中）、どんなリスクがあるのか分からない</li> <li>・治療費を支払うためにエッセンシャルワークをやめられず感染が怖い</li> </ul>
行動制限への悩み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアに入り、少しでも元気なうちに旅行などしたいが、できない。</li> <li>・外出できず、閉塞感から気分が落ち込む</li> <li>・がんになって気が沈んでいるところ、発散させる場もない。</li> </ul>
人に会えない・孤独感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者会などでの交流ができない</li> <li>・高齢の親に会いに行けず心配</li> <li>・余命や3年後の再発率から、離れて住む子供や友人に会いたいが会えない</li> </ul>
がん治療への影響の不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再発したときに治療が受けられるのか</li> <li>・再建が延期になり再開のめどが立たない</li> <li>・告知後の診察予約が1か月に1度しか取れない</li> <li>・手術日が延期にならないか不安</li> </ul>
周囲との危機感のギャップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場や家庭内で、がんを経験していない人とのコロナ感染への危機感が異なり辛い</li> </ul>
通院時の感染への不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染があったと聞き、通院が怖い</li> <li>・通院で公共交通機関を使うことが怖い</li> <li>・少しの体調不良では受診を躊躇する</li> </ul>
復職・転職・経済的不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復職したいが、感染拡大しているので見合わせている</li> <li>・治療後の再就職活動が難航している</li> <li>・コロナの影響で仕事や収入が減っている</li> </ul>
罹患したがん以外の診断・治療への不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で予約が集中し、胃がんの検診が受けられなかった</li> <li>・健康診断、区民検診などを躊躇して受けていない</li> <li>・皮膚科、歯科などの受診を躊躇している</li> </ul>

**Q.コロナ禍において、がん治療と生活・仕事などとの両立を図るため日々の生活で工夫していることや、前向きに過ごすためにあなたが心がけていることなどあれば、教えてください。**



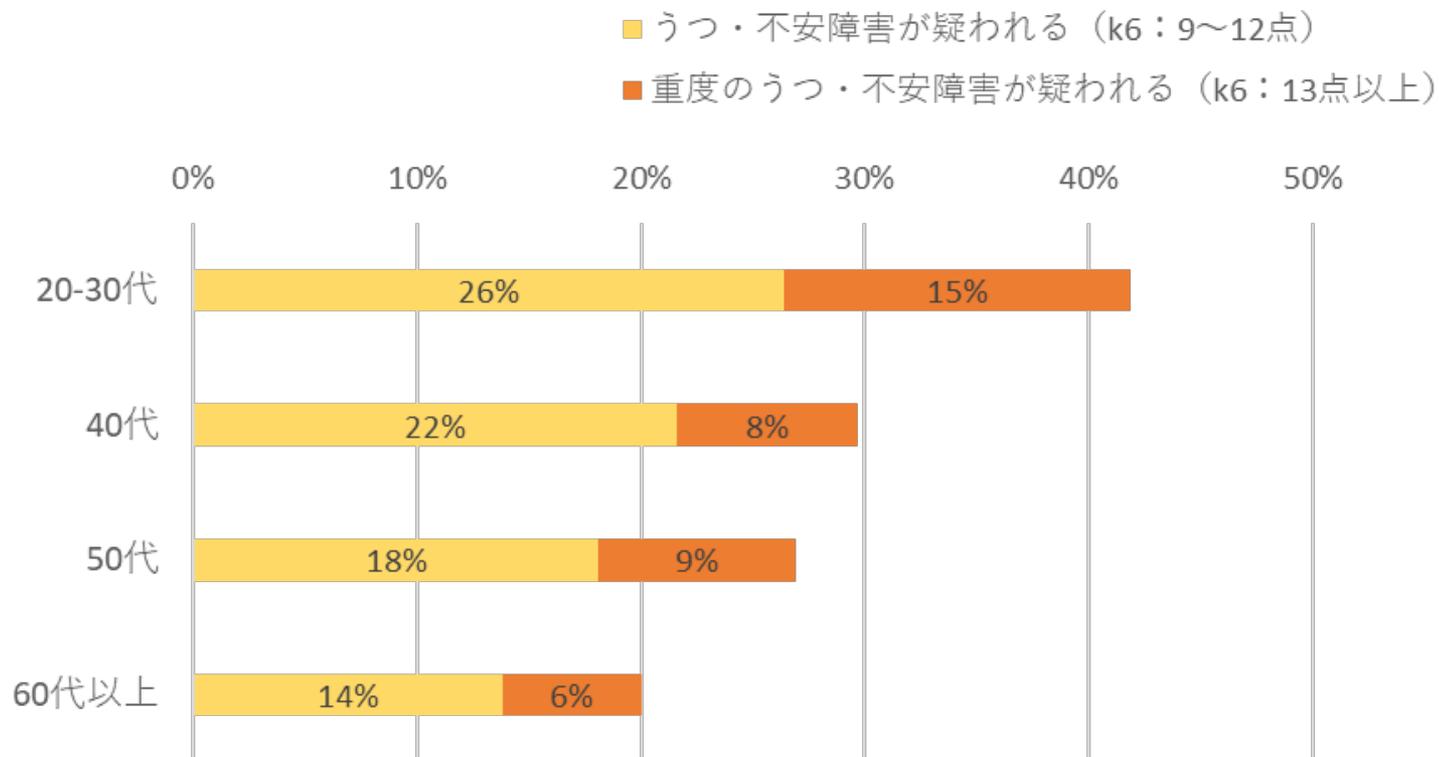
※自由記述を内容別に分類

回答者数 n=600

**Q.コロナ禍において、がん治療と生活・仕事などとの両立を図るため日々の生活で工夫していることや、前向きに過ごすためにあなたが心がけていることなどあれば、教えてください。 ※記述式回答から抜粋**

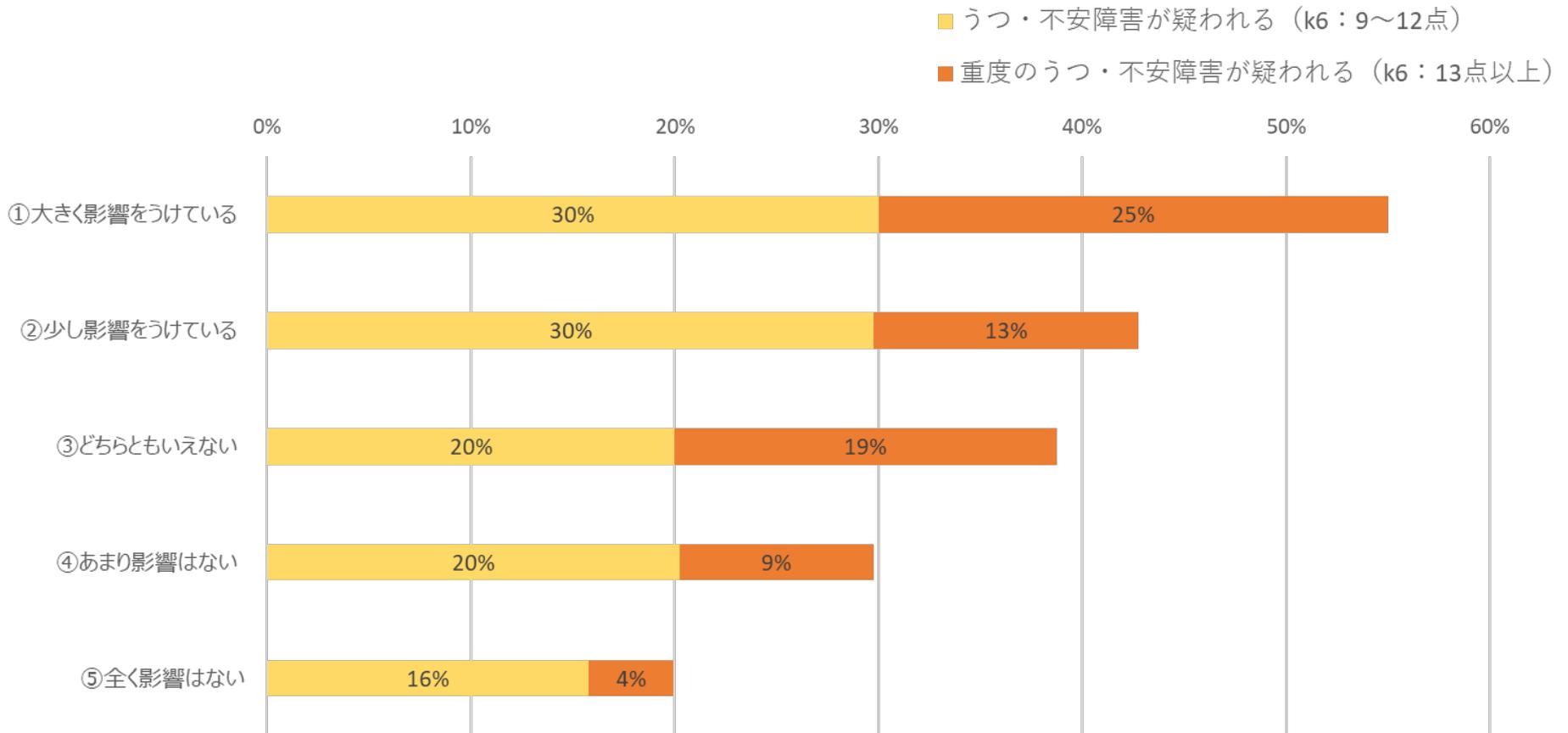
気分転換の趣味・運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家でできる新しい趣味を始めた</li> <li>・密を避けながら、ヨガやウォーキングなどの運動をしている</li> <li>・音楽を聴く、読書をする</li> </ul>
感染対策をしっかり行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・密を避ける</li> <li>・手洗い、うがい、消毒、マスクなど</li> </ul>
心を整える・ポジティブに考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安になるような情報から遠ざかる</li> <li>・今日に集中して、先のことを考えすぎない</li> <li>・よく笑うようにしている</li> </ul>
コミュニケーション (家族と/オンライン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と楽しい会話をするようにしている</li> <li>・zoomやLINEを使って、離れている家族や友人と話す</li> <li>・ピアリングなどのオンラインで同じサバイバーと交流する</li> </ul>
睡眠・休養・身体を整える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスの良い食事、睡眠、規則正しい生活を心掛ける</li> <li>・無理しすぎない</li> </ul>

## 【クロス分析】年齢×抑うつ状態



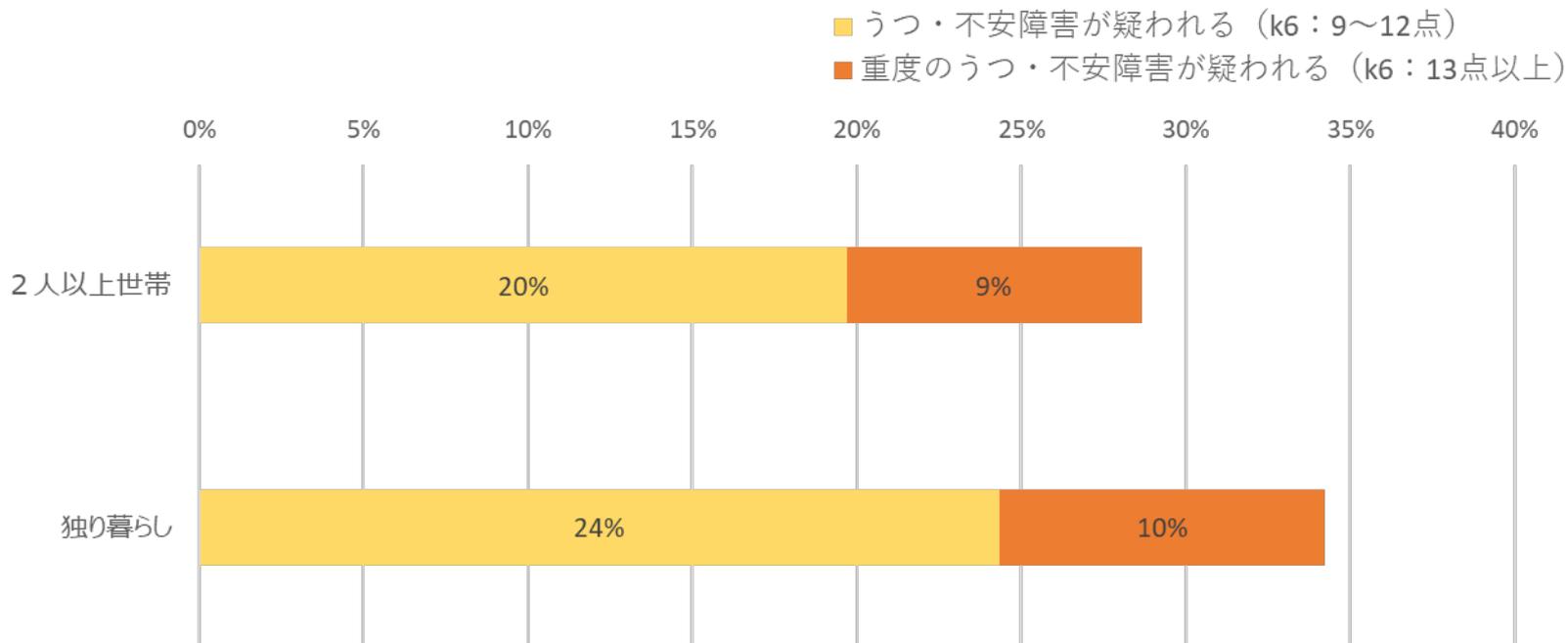
若い世代ほど、抑うつの割合が多い傾向が見られた。  
AYA世代がん患者へのメンタルサポートなどの必要性が益々高まっていると考えられる。

## 【クロス分析】 コロナ影響度×抑うつ状態



治療にコロナの影響を受けている人ほど、抑うつの割合が多い傾向がみられた。治療の延期については、丁寧な説明や治療の見通しの提示などが必要であると考えられる。

## 【クロス分析】同居状況×抑うつ状態



独り暮らしの人2人以上世帯の人に比べて、抑うつの割合が多い可能性が示唆された。

コロナの影響で孤独感が増す生活状況の中でのがん治療は、精神的に厳しく、オンラインでのピアサポートなど支援強化が求められる。